

セミナー開催のお知らせ

演題

「核内受容体を利用した肝炎ウイルス増殖戦略」

日時 : 平成30年7月18日(水) 午後17時30分 ~

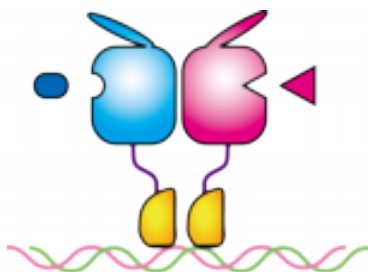
場所 : 臨床2番講堂

講師 : 渡士 幸一

(国立感染症研究所 ウイルス第二部 主任研究官)

ヒト・チンパンジーの肝臓特異的に感染する**B型**、**C型肝炎ウイルス**の持続感染は、肝硬変・肝細胞がん発症の大きなリスク因子となります。渡士先生は、これら肝炎ウイルスについて数々の研究成果をあげておられます。近年、化学遺伝学的手法を用いて、**C型肝炎ウイルス増殖**を抑制する低分子化合物を複数同定されました。その作用機序の解析から、これら低分子化合物の標的が核内受容体であることを見つけられました。さらにこの解析をとおして、**C型肝炎ウイルス**が、幾つかの核内受容体を利用して細胞内環境や膜構造・オルガネラを再構成し、宿主細胞を自身の増殖に効率的な”工場”にしていることが明らかとなってきました。このような機能修飾が、宿主に様々な病態発症をもたらすと考えられます。

今回、核内受容体と肝炎ウイルス増殖との関わりから、新しい肝炎制御の戦略にいたるお話を、ご講演いただきます。



どなたでも参加になれます。是非お越し下さい。

連絡先 生体機能医学系生化学研究分野
高田 (内線2243または2363)
takada.ichiro@nihon-u.ac.jp